

電動式生ごみ処理機・生ごみ処理容器に対する質問・回答について

Q 1 電動式生ごみ処理機、または生ごみ処理容器ってどのようなものですか？

A

- ① 電動式生ごみ処理機とは、電動で生ごみを堆肥に変える処理機です。
- ② 生ごみ処理容器には、コンポスターとキエーロの2種類があります。
 - ア コンポスター；プラスチック製の円柱形を土に埋め込み有機物を分解して堆肥をつくる容器です。
 - イ キエーロ；大きめの木箱に黒土を入れ、透明の屋根を斜めに付けた形で、バクテリアと土の力で生ごみを分解させ処理する容器です。特別な菌等を購入する必要がなく、また、生ごみを入れても土の量は増えません。

- ・これらは省エネルギー、生ごみの減量化と再資源化を目的としています。
- ・ごみ捨てる回数やごみ袋が軽くなったり、ごみ袋が減って経済的になります。

Q 2 生ごみ処理機器等の購入費の助成制度が変わったと聞きました。何がどう変わったのですか？

A 電動式生ごみ処理機と生ごみ処理容器が、次のとおり変更されました。
なお、変更内容は、平成28年10月1日以降に購入したものに限りです。

① 電動式生ごみ処理機

購入先が市内取扱販売店に限定 ➡ 市外取扱販売店からの購入も可能
《補助額》

購入金額の2分の1以内 【限度額3万円】

- ※ 本体と微生物の一括購入費が対象で**設置費や運送費用、消費税**は対象外です。
- ※ 補助額は100円未満は切り捨てとなります。

② 生ごみ処理容器(コンポスター)

補助額が3,000円 ➡ 購入費の2分の1(限度額10,000円)

- ※ 本体と微生物の一括購入費が対象で**設置費や運送費用、消費税**は対象外です。
- ※ 補助額は100円未満は切り捨てとなります。

電動生ごみ処理機と生ごみ処理容器の補助金申請の書式が統一されました。

Q 3 「キエーロ」の補助の対象範囲は、どこまでですか？

黒土の替えも補助対象となりますか。または自分でキエーロを造った場合の原材料費は補助対象となりますか。？

A 補助対象は、本体を購入した時の本体とその機能を果たせる最低限度の付属物品となりますので、郵送料と消費税は対象外となります。
黒土の替えは、補助対象となりません。
また、自分で造られたキエーロの原材料費については、市販されているキエーロと同等の効用が不明なことから、補助対象となりません。

Q 4 本体と黒土を別々の所から購入しても補助対象となりますか。？

- A 同一の事業所、店舗等からの一括購入のみ補助対象となります。
※「キエーロ」は、Q 7で案内している「キエーロ葉山」からの購入は、「キエーロ葉山」が黒土を扱っておりませんので、補助対象となりません。

Q 5 補充用として購入するバイオ材とか黒土等の発酵材は補助対象となりますか。？

- A 購入時のみの最低必要な分のみで、且つ一括購入した分が補助となりますので、補充分は補助対象となりません。

Q 6 電動ごみ処理機をインターネットで購入し、値引きやポイント分が引かれたのですが補助の対象となるのは、値引き前の額か値引きされた後の金額のどちらですか。

- A 値引きやポイントなど引かれた後の金額(申請者の実際の支払額となり、運搬費、設置費、消費税も除きます)の2分の1となります。

Q 7 どこで買えますか？

- A 次の場所で購入できます。

電動式生ごみ処理機	生ごみ処理容器	
	コンポスター	キエーロ
家電販売取扱店	J A伊勢原 経済事業課 96-5900 〒259-1142 田中250	「キエーロ葉山」 代表 松本信夫 〒240-0116 三浦郡葉山町下山口520-51 電話：046-877-0407 (携帯番号：090-6155-0675) Eメール：hayama@kiero.jp

Q 8 助成を受けるのに際し、注意することはありますか？

- A 次のとおりです。
- ① 補助対象者は、市内に住所を有し、現に居住している者です。
 - ② 処理機器については、居住場所に設置できる者です。
 - ③ 補助対象数は、1世帯につき1台(コンポスターは2台)です。

Q9 購入費はどれくらいですか？

- A 価格はいくまで、平均的な価格の目安となります。
また、発酵材は機種により米糠やEM菌等が必要な場合があります。

H28.10月時点

単位；円

購入費概算	電 動 式		生 ご み 処 理 容 器			
	生ごみ処理機		コンポスター (JA伊勢原の場合)		キエーロ	
	乾燥型	バイオ型	1300型	1900型	ベランダde キエーロ	バクテリアde キエーロ
本体価格 (税抜き a)	70,000	60,000	6,667	7,223	15,278	12,963
黒土 1000 (税抜き b)					(*2) (7,600)	(*2) (7,600)
発酵材等 (税抜き C)		5,000	本体購入時に付属			
計(D)	70,000	65,000	6,667	7,223	22,878	20,563
助成額 (*1) (D*1/2)=(E)	30,000		3,300	3,600	7,600	6,400
消費税(G) (Fを除く)	5,600	5,200	533	577	1,830 (22,878*8%)	1,645 (20,563*8%)
送料(税込) (F)					1,500	1,500
自己負担額 (D-E)+F+G	45,600	40,200	3,900	4,200	18,608	17,308

注(*1) 限度額が30,000円、又は10,000円(各100円未満切捨て)

ランニング コスト	(電気料)	消臭剤 626円 発酵促進剤 1,220円	(黒土) 注(*2) ; 一括購入以外の黒 土は、補助対象とな りません。
	10,000円/年間		
	機種により バイオ材が 必要		

Q10 助成を受ける手続きを教えてください。？

- A 次のとおりです。

- ① 「生ごみ処理機器購入費補助金交付申請書」(1号様式)を提出
※領収書、取扱説明書(パンフレット等)を添付
- ② 「生ごみ処理機器購入費補助金交付請求書」(4号様式)を提出

各用紙は、伊勢原市HPからダウンロードできます。
郵送でも受け付けます。

〒259-1138

伊勢原市神戸378 清掃リサイクル課(環境美化センター)

Q11 クレジットカード払いで購入した場合でも領収書は必要ですか。？

A クレジットカードなら「利用明細」が領収書に当たります。なお、利用明細を領収書の代わりに使う際には、店が発行していることと、利用明細に発行者、宛名、日時、金額、取引内容が記載されている必要があります。

Q12 それぞれのメリット、デメリットは何ですか？

	電動式生ごみ処理機		生ごみ処理容器	
	バイオ式	乾燥式	コンポスター	キューロ
大きさ	43×29×H60cm		直径60×66cm	94×50×H80cm
庭	◎ (不要)		× (必要)	△ (バクテリアdeキューロは必要)
設置面積	◎ (場所を取らない)		△ (1年ごとに場所を変更)	△ (場所をとる)
手軽さ	◎ (とても手軽)		△ (コツがいる)	○ (手軽)
臭い	◎ (ほぼしない)		△ (夏場はきつい)	◎ (ほぼしない)
虫	◎ (わきにくい)		× (わきやすい)	◎ (わきにくい)
堆肥	△ (機種によりできる)	△ (堆肥の元ができる)	◎ (できる)	× (むかない)
処理時間	24時間	2～4時間	3～6カ月	
熟成時間	14日～1カ月	1～3カ月		
交換作業	10日～2週間	半年に1回	半年	10日 半年 (※交換ではなく黒土の補充)
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみを投入する(機種にもよるが、投入後自動的に攪拌・温度調整をする機種もある) 数時間経つと生ごみが微生物の力で分解される(機種によっては投入後も中身が増えない) 	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみを投入し機械のスイッチを押すと、数時間後乾燥した生ごみができあがるので取り出す 堆肥の素として使用するか、燃やすごみの日に出す 	<ul style="list-style-type: none"> 地中10cmほど埋めて設置する ふたを開けて生ごみを投入する 水分量に応じて枯れ葉・土なども入れる。半年から1年かけてじっくりと堆肥が作れる 容器内が一杯になったら、容器を引き上げて別の場所へ移設する(容器を取り去り残った中身は、堆肥化して 	<ul style="list-style-type: none"> ふたを開けて生ごみを投入し、よく土と混ぜ合わせる(連続して同じ場所に投入しないよう、投入した場所に目印をつけるとよい)

	電動式生ごみ処理機		生ごみ処理容器	
	バイオ式	乾燥式	コンポスター	キエーロ
使用方法 (続き)			いるところから堆肥として使用する堆肥化していない部分は、土やビニール等をかぶせて、堆肥化するまでねかせておく)	
容器の中に入れてはいけない物	貝殻、骨、クシ取りした毛、薬品類、ペットのフン、その他人間が食べない物		肉、骨、貝殻、調理された食品(特にドレッシングや油たっぷりのもの)、竹の子の皮、石炭や木炭の灰、犬猫や人の糞尿、そして病気におかされた植物	骨、貝殻、大量の生姜、卵の殻、貝殻、たけのこの皮、豆類のさやの筋、たまねぎの外側の皮、とうもろこしの芯や毛(繊維質の強いもの)
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・臭いが出ない ・短期で処理できる ・堆肥ができる ・場所を取らない ・ごみ箱感覚で手軽に使える(スイッチを押すだけ) ・シーズンに関係なく、安定して処理できる 		<ul style="list-style-type: none"> ・安価である ・堆肥ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・臭いが少ない ・生ごみがなくなる ・どこでも設置できる(土が無くても設置が可能)
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・購入費が高い ・1回の処理量が少ない ・電気を使うため、音や熱が発生し電気料が掛かる ・電化製品なので故障する可能性がある 		<ul style="list-style-type: none"> ・庭(土)が必要である ・密閉状態のため水分過剰になりやすく、扱いが難しい(悪臭や虫が発生しやすい) ・半年ごとに場所を変更する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入費が少し高い ・肥料にむかない(腐敗物がない)

Q13 もし機器が壊れたら、どのように廃棄処分をすれば良いですか？

A 大きさに関わりなく、粗大ごみの扱いとなります。

Q14 2台目を購入したいが、補助対象となりますか？

A コンポスターは1世帯2台まで補助対象となります。
また、生ごみ処理機・処理容器は、購入した日から6年を経過しないと補助対象となりません。

・キエーロは、「消えろ」とスペイン語でquiero「好き」とか「欲しい」とか言う意味。